



2018. NO  
125

現代

2009年 / 平成 21年 撮影

# いざよひ

その覚悟を、  
時が伝える

九三式中間練習機 実寸スケール



## 目次

- 6月定例会 ..... 2
- 議会トピックス ..... 4
- 議会常任委員長・運営委員長研修 ..... 5
- 8人が一般質問 ..... 6～13
- 傍聴席から一言・議会のうごき ..... 14
- 軌跡 ..... 14



戦後第一集

1 錦町	11 錦町公園	21 錦町公園	31 錦町公園
2 錦町	12 錦町公園	22 錦町公園	32 錦町公園
3 錦町	13 錦町公園	23 錦町公園	33 錦町公園
4 錦町	14 錦町公園	24 錦町公園	34 錦町公園
5 錦町	15 錦町公園	25 錦町公園	35 錦町公園
6 錦町	16 錦町公園	26 錦町公園	36 錦町公園
7 錦町	17 錦町公園	27 錦町公園	37 錦町公園
8 錦町	18 錦町公園	28 錦町公園	38 錦町公園
9 錦町	19 錦町公園	29 錦町公園	39 錦町公園
10 錦町	20 錦町公園	30 錦町公園	40 錦町公園

地下施設名一覧

地下施設名一覧

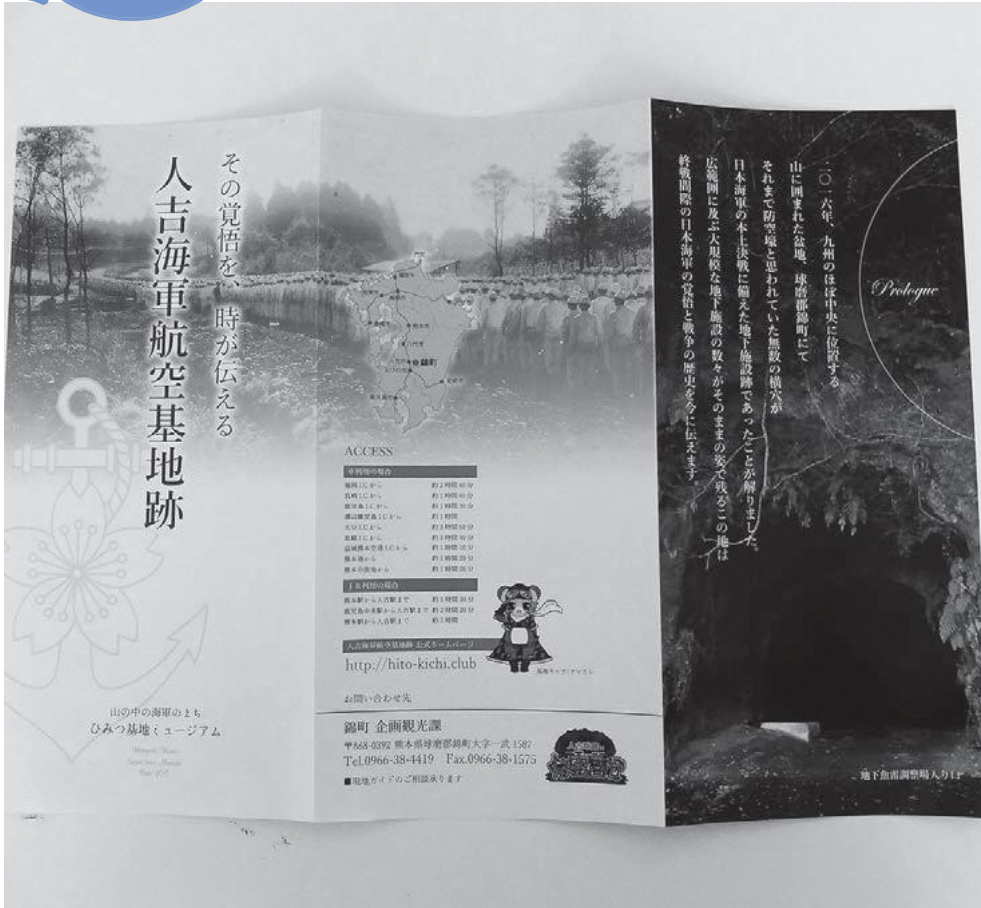
1 錦町	15 兵舎
2 錦町	16 錦町公園
3 錦町	17 兵舎
4 錦町	18 錦町公園
5 錦町	19 兵舎
6 錦町	20 錦町公園
7 錦町	21 兵舎
8 錦町	
9 錦町	
10 錦町	
11 錦町	
12 錦町	
13 錦町	
14 錦町	

※引継ぎ済 航空隊・警備隊 航空隊・警備隊



6月  
定例会

# 人吉海軍基地ミュージアム いよいよオープン



平成30年第2回定例会は、6月11日から18日までの8日間の日程で行われ、平成29年度各会計補正予算等の専決処分承認11件、平成30年度各会計補正予算3件、条例改正等4件、報告4件、諮問1件、人事案件1件が上程され、慎重審議の結果、いずれも原案のとおり承認、可決した。なお、条例案1件については修正案が提出され、賛成1、反対10で否決された。今回の一般質問には、8人が登壇し、執行部の考えを質した。

## 条例改正等

- ① 錦町税条例等の一部を改正する条例（専決処分）  
地方税法等の一部改正に伴い改正するもの（住民税、固定資産税、市町村たばこ税等）
- ② 錦町国民健康保険条例の一部を改正する条例（専決処分）  
国民健康保険の運営主体が町から熊本県へ移行に伴い改正するもの
- ③ 錦町国民健康保険条例の一部を改正する条例（専決処分）  
地方税法等の一部改正に伴い改正するもの（限度額の引き上げ及び軽減対象の拡大）
- ④ 錦町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例（専決処分）  
高齢者の医療の確保に関する法律の一部改正に伴い改正するもの
- ⑤ 錦町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例（専決処分）  
厚生労働省の定める基準の一部改正に伴い改正するもの

平成30年 第2回 表決一覧

(賛成=○ 反対=×)

議案名	議員名	池田	藤川	岡田	金山	柳瀬	右田	守永	久保田	荒川	高田	土肥
錦町立人吉海軍航空基地資料館の設置及び管理に関する条例（原案）		○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

### ⑥ 錦町税条例の一部を改正する条例

入湯税の課税免除について改正するもの

### ⑦ 錦町国民健康保険税条例の一部を改正する条例

税率の改正に伴うもの（所得割、均等割、世帯割の引き下げ）

### ⑧ 錦町地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

介護保険法施行規則の一部改正に伴うもの

### ⑨ 錦町立人吉海軍航空基地資料館の設置及び管理に関する条例

学びの場、住民交流の場及び観光の拠点として資料館の供用開始に伴い、指定管理者の指定等所要の規定を定めるもの

## 報 告

### ① 平成29年度錦町一般会計繰越明許費繰越計算書

### ② 平成29年度錦町下水道特別会計繰越明許費繰越計算書

### ③ 平成29年度錦町一般会計事故繰越し

### 繰越計算書

### ④ 和解及び損害賠償額の決定について

## 諮 問

人権擁護委員候補者の推薦につき意見を求めることについて

住所 錦町大字木上東175番地1  
氏名 久保田 健嗣

## 人事 案件

固定資産評価員の選任について

住所 球磨郡湯前町2846番地3  
氏名 白川 裕美



錦町木上に残る、当時の姿のままの地下施設の数々



■森づくり・森林保全課現地視察同行

厚生文教経済常任委員会（荒川孝一委員長）は、5月9日、緒方勇二県議会議員の県への支援要望「村づくり、森林保全課現地視察」に同行した。錦町・あさぎり町・多良木町各町を二日間の行程で視察するもので、錦町においては、国土交通省人吉出張所、球磨地域振興局、錦町役場、水土里ネット、錦町土地改良区、農業委員会のメンバーと共に、①錦寿豊苑（耕作放棄地、農福連携、共生社会の実現）、②下水道処理場（下水道熱を利用した次世代型農業の可能性）、③球磨川河川敷（獣害対策、河川野焼きによる地域振興）



等、当面する課題とこれに対する支援要望事項を地元町議会議員として意見を提した。

議会トピックス

■錦中・各小学校の防犯カメラ視察

厚生文教経済常任委員会（荒川孝一委員長）では、6月定例会中、委員会視察として本年度より設置稼動した錦中、各小学校の防犯カメラ状況を見て廻った。この防犯カメラ設置は、昨年の錦中の異臭発生、近年の不審者の学校侵入から生徒児童を守るためにと数台ずつ取り付けられたものである。設置場所、モニター等を担当課、学校関係者から案内説明してもらい、画像の鮮明さなどを確認した。又、今後の課題点もあり、委員会としては更なる利便性を考慮した機能を提言していくこととし、学校、生徒児童の安全を今後を守る施策提言の必要性を論じた。



# 議会 常任委員長・運営委員長研修

演題 「地方創生・まちづくり」 限界集落の活性化は可能か？  
講師 高野誠鮮氏  
(立正大学客員教授。総務省地域力創造アドバイザー)

◎石川県羽咋市神子原地区の活性化に取り組んで実践し、つづける中で言える事。

平成17年当時、神子原地区人口459人(20年間で半減)、高齢化率54%、豪雪地域で離村、離農率も高く耕作放棄が増大し、耕作面積110畝、遊休地46畝、農家の平均年収が90万円程度であった。試行錯誤の対策ではあったが、平成21年には、高齢化率47.5%、農業所得の向上が実現。中には月額30万円超の農家も出て来た。年間8,000万円超が集落にもたらされ、UJイターン現象(8名のUターン若者移住)がおこり、十数年ぶりに赤ちゃんの誕生がみられた。30代のUJイターンの農家カフェが誕生し、夏と冬に大学生

が集落合宿するなど若者との交流も増え、12家族35名が他県から移住してきた。又、途絶えていた祭りも復活し神子原地区に活気もどって来た。徹底的に地域を分析し、プラス要因を洗い出し、それを活かす。携帯が通じない?自然豊かな所?こんなイメージもプラス要因と捉え活かしてきた。限界集落地区となった様々なマイナス要因を凌駕し現在に至っている。

## ◎具体的な取り組み例 TBSテレビでドラマ化「ナポレオンの村」

神子原米のブランド化に向けて、農産物の流通形態を市場出荷から、直売方式(自分で希望小売価格を設定)にする。情報発信は広く遠くへ発信する。反対や批判的な人

達に興味を持たせることで話題性も高まれば、メディアも取り込める。大胆な発想を実行する。世界に向けて発信、ローマ教皇への献上米に成功。世界一小さな国と日本の小さな村との架け橋、交流が始まった。米の国、アメリカ大統領への献上米は、受け取り拒否されるが、別の手段で取り組む。日本の有力者、知名人など、メディアが勝手に情報を拡散してくれる。買ってもらうのではなく、買いたくなる『米』へと、ブランド化。その他様々な取り組みへの資料は、議会事務局へご連絡下さい。 ☎38-4421

## ◎高野誠鮮氏よりの提言

公務員の思考3パターンと、そこから生まれる様々な問題と対策  
一、左脳の論理的思考、二、右脳の創造的思考、三、経験と知識から得られる実践的思考のパターンがあるが、計画をいつ誰が実践するのか?が問題。前に踏み出そう

とするとき、失敗したときの事を真っ先に言い出す人、論議だけの人、私心がある人、知を識にしている人などなど、実践を危うくする人には相談はできない。役所思考は無難にまとめようとする?実践するための思考の方向性として、①できない理由を考えない。②条件を外に出さない。③原因をリサーチする(中途半端は言い訳)。④ゴールに向け積極的で前向きな対処法を実施してみる。⑤駄目もとで、とにかくやってみる。課題に向かつては、改善できる可能性を模索(できない理由を挙げない)する等思考パターンを例記しても良かった。その中で①いてもいなくてもいい公務員②いては困る公務員③なくてはならない公務員の項は役所の職員のみならず我々地方議会の議員のあり方として、私達はどれにあてはまるのか、町民の皆さんにどのように評価されているのか、自分自身に強く問われている事をあらためて肝に銘じたい。

一般質問

町政の「こ」が聞きたい

8人が登壇  
(要約掲載)

青年会館を子どもが集える場所に



柳瀬みどり 議員

**柳瀬** 多くの事件、事故から子どもを守る為には規則を作るのは仕方のないこと。その中で生徒さんが言われた言葉が、「どこもだめ、だめで行くとこなかたい。じゃどこにいけばいいと？」と。行くところがなくたってしまう規則をつくるということは、その反面、子どもたちの集まる場所、居場所を

つくってあげないといけないのでは？

**教育長** 確かに制限があり行くところが少なくなっている。かといつても何もかも制限を加えるのは非常に厳しいものがある。その辺は学校とも連携をとり、子どもたちがしっかりと地域の中で育つ環境をそれぞれの団体、関係機関と連携していきたいと思っている。

**柳瀬** 中学生になると家族と過ごすよりも、友達と過ごすのが楽しい時期になる。そんな子どもたちの集える場所を提供して頂きたい。

**町長** 今、青年会館を一部



子どもたちが集える場所に (錦町青年会館)

分イベント等に活用して頂いている。図書館に読むスペースはあるが座って勉強しながらするスペースは確かに狭い。改修も将来的に考慮しながら、どのような形にするか、今後担当課を交えて検討したい。

**教育振興課** 青年会館は基本的に社会人の方、各種趣味講座、会議で29年度は36団体で270回使われている。そういった中で例えば土日開放や、防犯面のクリア等検討していけば可能になってくると思う。

定住自立圏構想の効果は

**柳瀬** よその図書館では、図書館の役割が少しずつ変えられてきているそう。やはり子どもたちの集える場ということで、トランプやオセロ等自由に遊べたりする。そういう空間をつくっておられる。もうすぐ夏休みに入るが、机一つでいい。ちよつとおしゃべりしたいな、お弁当食べたいなという居場所、「私達どこで遊べばよかと？」という子どもたちの悩みを解決する一つの策としてお願いしたい。

**柳瀬** 29年度の計画は伝わっていないが？

**町長** スマートインターチェンジへの錦町からの職員の派遣、医療機関の、土・日・或いは正月休みの病院の当番制の負担金等、人吉と契約をしながら球磨郡全体の負担を軽減し住民の福祉サービスを向上するやり方である。今のところ新しいメニューはない。

※外に、2次災害における土砂崩れの工事について質疑した。



## 我々はクレームマーではない!



荒川 孝一 議員

荒川 町民の方より錦町あいねつと接続（インターネット接続）が遅いという指摘もあり、私と知人で調査していた。調査中IPアドレスが変更されている事が判明し、知人が担当課に連絡したはずだが。企画観光課 保守事業者と原因を調査したところ、新しいIPアドレスをインターネットラジオオサージャスの提供事業者側のシステムの不備が原因で認識できず、発生したと確認した。

回答している。言っておくが、私も知人も何の落度はない。錦町の為にといい指摘したのだが、それに対しての報告がない。企画観光課 保守事業者とインターネットラジオが聞けない状況をまず解消したいと対応していたためで報告等に不備があった。

### 錦町を責めているのではない。

荒川 保守事業者に29年度も4,300万円委託料として支払っている。その業者の今回の報告書に2017年8月から新しいIPアドレス、新規割り当てられたとう文々。報告は町にあったのか。

企画観光課 報告はなかった。

荒川 今回の問題はここだ。IPアドレスが変わるといことは簡単なことではない。保守事業者は、契約者である錦町に報告する義務があるのではないか。これも指摘

する。

町長 契約につい

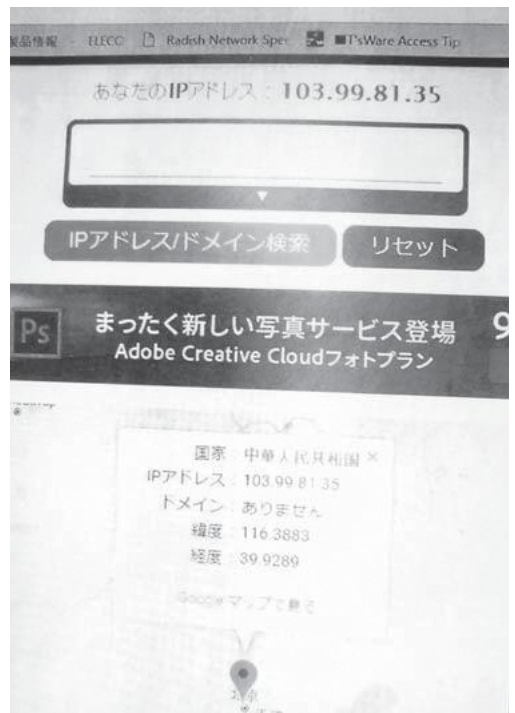
ては、私共も主張していかなければならないと思っ

ている。又、職員の内、遅かったと私も感じている。陳謝したい。今後は保守事業者に対しても錦町との信頼関係を構築していく取り組みを進めていきたい。

### 報告書の上目線、なんなんだ!

荒川 保守事業者の報告書に「錦町におかれましても、インターネットの構成技術のある程度把握して

いただき、中略、疑義があるものについては一旦保留していただき、状況を速やかに「略」とある。2017年8月に新規IPアドレスの報告はせず、年間4,000万



IPアドレスが中国籍になっていた

円で委託されているのに、この言い方は、要するに「錦町ちゃんと勉強して対応しろ」とまるで上から目線の言い方に取られても仕方ない文章ではないか。私はそう読み取った。

町長 契約をお互いに尊重し合う。そして我々もちゃんと言うことは言っていくことが大事だと思っ

## 海軍航空基地設置条例に

### 『平和』の文字明記を！



藤川 喜一 議員

名が犠牲となっている。平和の大切さについてはずっと言い続けており、戦争を風化させることなく、子ども達に戦争の愚かさ、悲惨さを伝えていく手段として基地跡を整備してきた。「平和」の文字が直接入っていないが読み取っていた。だいたい。

藤川 議会初日に提案された「錦町立人吉海軍航空基地資料館」設置条例(案)には「平和」の文言が一言も入っていない。資料館の名称・目的の中に「平和」の文言は必須である。不自然であり、違和感を覚える。当初の戦跡整備事業の目的であった「平和学習の場」として整備し、もって町の観光振興にも生かす。という趣旨からしてもおかしい。町長の認識と見解を求める。

町長 錦町でも先の戦争で422

藤川 設置条例は「資料館」の性格を表わすものであり、大変重要なものだ。町内外にアピールするもので「歴史的文書」となり得るものだ。事務的な条例とは性質が違う。我が錦町は平成12年6月議会において「非核・平和のまち宣言」を全会一致で採択している。他の戦争遺跡資料館で「平和」の文字が入っていない設置条例はない。(知覧特攻平和会館・大刀洗平和記念館など)町長に再考を求める。

## 町職員の

### 処遇改善について

藤川 「豊かな町づくり」の為に、町職員の頑張る決意と奮闘は欠かせない。町職員の処遇について尋ねる。処遇の基本である給与について熊本県市町村課の資料によれば錦町一般職員のラスパイレス指数(※国家公務員の給与を100とした場合の指数で地方公務員の給与水準を示す数値)は94.5(H29年度)であり県下45自治体中第36位、球磨郡9町村では第7位、下から3番目の低さである。ちなみに町長給与は76万円、副町長給与は58万5千円、球磨郡内では2番目の高さである。町職員の働く意欲の最たるものは給与賃金である。町づくりにしっかり汗を流してもらおう職員である。県内・郡内最下位水準から平均程度まで引き上げることはできないか。町長の見解を求める。

町長



錦町立人吉海軍航空基地資料館  
『平和』の拠点・シンボルに！

町長 さまざまな要因がある。一概にラスパイレス指数だけでは判断できない面もある。地域の給与水準とかの兼ね合いもある。

藤川 財政的な面もあるが3年、5年計画とかで少なくとも県内、郡内で中程度の水準となるよう検討いただき、町職員の頑張る環境を整えていただきたい。

※外に『選挙』に関する問題(投票所数及び町長・議員同日選)について質疑した。



## 火災発生後、反省及び見直し事項は

**池田** 予想できない火災時の対応で民家の密集地とそうでもない地区の防火水槽の点検、見直し検討はできないか。

**総務課** 消火栓と防火水槽を併用する形で対応しているが、地元の御要望、御理解のもと、施設の更新を行っている。

**池田** 祝日や夜間の火災の連絡体制はどのように対応するのか。

**総務課** 消防の担当ばかりでなく、総務課全体で対応するよう現在マニュアルを作っている。

**池田** 町民の生命、財産を守る上で各分団の防火水槽マップを作成して区長にも配布したらどうか。

**総務課** 防火水槽や消火栓のマップ



池田 秀晴 議員

は各消防団の詰所や東分署、役場、それぞれの部署に配布している。

**池田** 消火栓のある所は一年に一度の単位で消火訓練の指導をできればと思うが、そのような考えは。

**総務課** 消火栓のあるないにかかわらず、消防団員の訓練について

は、幹部会等でお願ひしている。

## 山の中の海軍航空隊基地跡周辺整備は。

**池田** 大型バスや家用車の駐車場の整備範囲はどの程度の整備か。

**企画観光課** 駐車場の整備については、拠点施設の敷地内を主に考えていて拠点施設の東側に760㎡のアスファルト舗

装を予定している。

**池田** 防空壕への遊歩道周辺の整備はおもてなしを考えたときに、どの程度の整備を考えているか。

**企画観光課** 遊歩道周辺については、竹や木が朽ちていたりとか、倒れていたりしている部分は開館に向けて、きちんと整備したいと考えている。

**池田** 魚雷調整場近くにおけるトイレの整備はどう考えているか。

**企画観光課** 現在、拠点施設のほうで利用して頂く考えで、御来場者の要望等を把握しながら検討をしたい。

**池田** 防空壕の照明や通路の整備はどのような考えか。

**企画観光課** 今の所は暗く、足元が見えにくいので、照明設備のほうは開館までと考え、通路の整備も現地を再調査して開館まで整備したい。

## 小中学校の喫煙所の整備計画は。

**池田** 一年前、一般質問で伺った喫煙所の整備計画について、中学生にもなると男女とも興味をもつ年頃なので、健康面からでも喫煙所を設置するべきと思うが如何か。

**教育長** 児童生徒にとっては、健康に害があることは承知しているので、国、県の動向を踏まえながら、各学校の校長会と協議しながら、今後考えていきたい。

※外に町長の四選出馬について質疑した。



検討が必要な防火水槽

商工業と後継者の支援を



金山 民幸 議員

や把握はしていなかった。

**金山** 今後、雇用の増や地域活性化のために、制度の周知に努められることを要望しておく。又、条件が厳しいと思うので投資額は別として雇用数の緩和を検討してはどうか。町長の所見を。

**町長** 町の産業活性化等を図る意味から今後については検討する。

**金山** 町内の約440の商工業者の内、商工会加入事業所は226で商工業の発展と経営改善並びに地域振興事業の推進をされている。その中に後継者である青年部員が23名で家業に従事しながら特に夏祭り、ふるさと祭り、にしき産業フェスタ等を実施され、地域の活性化への大きな力になっている。このようなことから何らかの後継者支援策の創設はできないか。

**企画観光課** 雇用促進、産業振興及び地域活性化に繋がるものと考えるので、条件基準等の検討をする。

**町長** 農業及び商工業の育成等については今後しっかりサポートし推進する。

**農林振興課** 基金は農業、商業等の経営者を支援し地域産業の活性化が目的であり、貸与金額200万円以内、返済は5年均等払いで無利子となっている。これまで131件、約1億4千5百万円の貸付で、基金残高は約43百万円となっている。

**金山** 商工業者の利用状況は。

**農林振興課** 3件で430万円である。

**金山** 町には起業支援制度があるが、ここ5年間における該当事業者件数は。

**企画観光課** 投資額100万円以上で常時雇用者2名の条件がある。該当事業者は1件であった。

**金山** これまで飲食店、理美容店及び自動車整備店等が起業しているが、同制度に該当するか、把握されたのか。

**企画観光課** これまで制度の周知

**金山** 町の基幹産業である農業は、各種制度により振興が図られている。後継者の確保については、国及び町独自の制度により支援が図られているが、支援状況は。

**農林振興課** 国の農業次世代人材投資事業は、就農に当り年150万円を5年間給付するもので、18経営体が受給中で9経営体が完了している。又、町の農業担い手支援給付事業については、年75万円を5年間給付するもので4経営体を認定している。

**金山** 町産業振興資金貸与基金の運用状況は。



商工会青年部主催の夏祭り



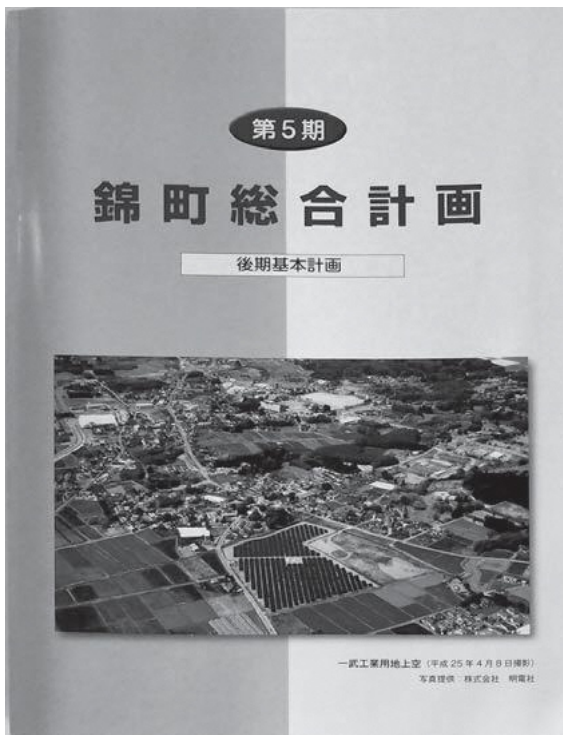
## 教育行政の現状と課題は？



守永慶次郎 議員

守永 錦町第5期（平成21年から平成30年度）総合計画での学校教育は子どもたちの生きる力を育む教育、教職員の資質の向上を図るを基本方針として掲げてある。本年度は最終年度であるがこの9年間の成果をどう検証しているのか。

守永 としては積極的な自己研鑽とわかりやすい授業の工夫、一時間一時間の授業の充実を図ってきた。又、健康な体の育成については早寝早起き、朝ごはんの推進、疾病状況の把握と早期受診。特にむし歯についてはフッ化物洗口をとり入れ、成果として1人7・5本のむし歯を持っていたのが3・2本まで下がってきた。体力向上については各学校体力の向上に努めてきた。



守永 子どもたちが義務教育を終え社会に巣立っていく時に身につけておかなければならない能力がある。まずは認知能力（文字・数字・記憶力等机上で養えるもの）そして、非認知能力（自尊心・社会性・協調性・自制心・やり抜く力等総じて知能指数で測れないもの）この非認知能力の高いこともほど将来社会に出てから成功すると言われる。幼少期はなるだけ外遊びをさせる。小学校・中学校では部活動がその能力を身につける場として捉えられ

している部が存続の危機にさらされていくと聞かす。

教育長 全部ではないが聞いている。今後は適正な運動部活動推進の為小中学校の指針を出し、子どもたちを休ませるとの共通理解を持つ指針づくりを進めていく。

守永 高校の入試では推薦合格、前期特色選抜合格者は部活動を3年間一生懸命頑張り、その非認知能力が身につけている証だ。そういう子どもたちが年々増えることを望むが、非情熱的な教師の存在が子ども一人一人の個性や特性を重視した学校教育の推進の障害となる。異動時には優秀な教師を連れてきて欲しい。

教育長 優秀な先生がきていただくことは私も望むことだが、異動のルールを守りながら県に具申をし、町の教育の質と、その向上に努めていく。

が、近年中学校では教師の働き方改革を盾に部活動の顧問教師が物議を醸し、ここ数年九州大会に連続出場

健康づくり日本一を姿が見えるものに



右田 宣之 議員

38名、健康推進員が32名で、ほぼ各分館におられる。

右田 モデル分館設置をされる場合、分館主事を中心に、分館主導で運営となるが、2点ほど提言をしたい。それは、独自の目標設定と講演会等を主催していただきたい。このことについて町長の見解を伺いたい。

町長 貴重な提言ありがたい。健康づくり日本一提唱以来、種々事業展開し成果をあげていることも事実。今後は、行政主導ではなく、モデル分館等も視野に入れ、それを町がサポートしていく方法でしっかりと検証をさせていただきたい。

国・県管理河川の堆積土砂が危険

河川は幾つで、その河川名は。

地域整備課 8河川で、国直轄管理の球磨川、県管理7河川が、鳩胸川、小さで川、高柱川、大谷川、水無川、野間川、川辺川となっている。

右田 これら全ての河川、かなりの堆積土砂があることは明々白々であり、集中豪雨の際は、当然水位が上がり危険な状態になることは必然。この現状把握はできているか。

地域整備課 河川掘削については、例年、国県管理の河川事業のヒアリングの際要望を行っている。また、県への要望書提出前に現地確認を行うので、現地把握はしているが、確かに殆どの河川で土砂が堆積している状況である。

右田 本町関連の8河川全て、堆積土砂で危険な状況であるので、

議員も一同となって掘削を強力に



小さで川の堆積土砂（京の峰橋から）

要望したいと考えるが、その際、集中豪雨時、木綿葉大橋左岸側一帯の水田が冠水するが、これは球磨川の水位が高くなり支流河川のバックウォーターが原因。これらを防ぐため導流堤の構築も国交省に要望をしてはどうか。

町長 指摘の箇所、国交省の整備計画の中で築堤はあるが実現できていないので導流堤も含め要望をしていきたい。

右田 健康づくり日本一を平成21年度に提唱し早や10年目を迎え、保健師主導で種々事業展開されていることは承知しているが、日本一と言えるにはまだまだ距離が遠い気がする。そこで今回は、健康づくりモデル分館を設置し、この事業に関し、行政のトップを副町長、分館のトップを分館主事に充てるとういうことを提案したい。それを運営していくのに、食生活改善推進員、健康推進員の存在は必要不可欠。そこで、これらの方は何名で各分館におられるのか。

健康保険課 食生活改善推進員が

右田 本町に国及び県が管理する



## 学校の部活動に公用車の貸出しは



岡田 武志 議員

**岡田** 小学校の部活動も社会体育へ移行する。中学校の部活も、これから指導者や、保護者の負担が増えると思う。子ども達を運ぶ手段として、ワゴン車や、バスが必要だと思うが。

**総務課** 今年一月までは、町所有のワゴン車を貸し出していたが、自動車保険の問題があり、小中学校のクラブ活動での試合会場等への送迎が、町の公務に当たるかどうかの判断に大変苦慮し、これまで事故がなくてよかったと思う。申し訳ないが、保護者の方の自家用車での乗り合わせによる送迎で

対応をお願いしている。

**岡田** 現在は貸出しはしていないということだが、子ども達を運ぶ手段としてバスは有効だが、錦町にはバスが無い。子ども達のため



貸し出しが望まれる公用車

に、自分でバスを購入し、頑張つてこられた保護者もおられる。町からの補助があれば、中古でもいいバスが買えるし、安心安全を考えると、地元のレンタカーがある。そのためには補助が必要だ。

**町長** 車に限らず、何らかの形で

何らかの方法で、補助を出しながら保護者の負担を軽減するということ

は、当然やっていかなければならない。

**岡田** 来年度から小学校の部活動が社会体育へ移行し、遠征等には少なくともバスの必要性は出てくるし、錦町の子どもたちが、遠征、試合に行く時、錦のコミュニティバスであれば動く看板であり町のPRにもなる。教育や企画観光などから、色々なアイ

ディアを出し合い子どもたちを支援してもらいたいですが、それにはあまり時間がない。教育長の考えは。  
**教育長** 社会体育移行は31年4月からなので、スピード感を持って、このような形でいきますということを早く打ち出し、保護者の理解、協力を得たいと思う。

## 町の行事の中には集約出来るものがあるので

**岡田** ほとんどの行事に、区長を初め分館役員の方々が充てられている。定期的に多忙なとき、行事の準備等で多くの時間を使っている。本当の休日とは何かをみんなで考える必要があると思うが。

**町長** 町の行事だけでも、多くの行事があり、区長さんをお願いしているところは相当あると思う。町としても、関係課と一緒にしたプロジェクトを作り検討していく。

# 議会のうごき

## 4月

1日	・錦町消防団入退団式	12日	・定例郡議長会議
2日	・全員協議会	18日	・広報特別委員会
6日	・春の全国交通安全運動出発式	19日	・例月出納検査（～20日）
9日	・県立球磨中央高校入学式	20日	・球磨郡監査委員連絡協議会定期総会
10日	・町内各小学校入学式・錦中学校入学式	24日	・広報特別委員会
11日	・球磨地域振興局幹部との懇談会		
	・広報特別委員会		

## 5月

1日	・全員協議会	22日	・熊本県町村議会議長会議長研修会
11日	・定例郡議長会議		・熊本県町村議会議長会臨時総会
12日	・球磨中央・商業高校体育大会	25日	・錦町商工会通常総会
14日	・錦中学校体育大会		・人吉球磨広域行政組合議会臨時会
16日	・錦町慰霊祭	27日	・西小学校運動会
18日	・人吉下球磨消防組合議会臨時会	28日	・全国町村議会議長・副議長研修会（～29日）
20日	・剣豪「丸目蔵人」顕彰少年剣道選手権大会	31日	・国道219号整備改良促進期成同盟会総会
21日	・例月出納検査（～22日）		
	・人吉下球磨消防組合議会議員視察研修（～23日）		

## 6月

4日	・議会運営委員会	22日	・サンロードシティSCリニューアルセレモニー
	・全員協議会		
	・定例郡議長会議	26日	・決算審査（水道事業）
11日	・平成30年第2回定例会（～18日）	28日	・平成30年県庁織月会懇親会
19日	・例月出納検査（～20日）		

## 議会へ一言



蓑田 清男さん  
（錦町区長会長）

最近の雨の異常な降り方は、困ったものだ。29年は、九州北部豪雨、今年も、西日本豪雨（岡山、広島、愛媛など）で、崖崩れや川の氾濫などで、多くの家屋の全壊、半壊が相次いだ。更に地球よりも重いと言われる尊い人命が失われた。

この災害復旧に、7月の連日連夜の猛暑の中で、被災者をはじめ、多くのボランティアの方が、汗水を流して活動されている姿に胸が痛む。

過去に錦町はどうであった。昭和47年6月から7月にかけて豪雨に見舞われた。天草郡倉岳町をはじめ多くの犠牲者が出た。

今は、何もなかったような平穏な生活が営まれているが、地震や豪雨災害から我が集落が立ち直ろうとしたときどうだったろうか。

60歳以上の人が多く、避難も困難を伴う人が多いのではないだろうか。今回の災害は、行政に頼るのでなく、自分で自分の身を守ることを教えてくれた気がする。

議会も「議会だより」を発行して、良識の府として活動されているので、安心を感じる。

今後も町民の立場に立った視点で安心した生活ができるよう更なる町づくりに努めていただきたい。

## 軌跡

台風7号の猛威。止まるところを知らず。風の脅威を鎬ぐ雨、1000年に1度と言われても今を生きる我々にとっては正に現実。例年なら6月、7月の1ヶ月間の降雨量が、わずか2〜3日でふる豪雨である。その量1000ミリ以上とあっては想像もつかない。繰り返される避難勧告と災害発生情報。テレビ画面に写し出される惨状には目を覆いたくなる。日増しに増える災害死亡者と行方不明者。先行きの見えない災害復旧作業。7月9日からの好天気で復旧作業は急ピッチで行われているが、九州を含む西日本全域とあって何とも心許ない限りだ。熊本地震で未曾有の体験をした熊本県民にとって我がことのような思いにちがいない。被災地の皆様に心からお見舞いを申し上げたい。

さて我が錦町の災害状況は、まだまだ救える状況かなあと、思うが一日も早い現況復旧復興を願う所である。雨あがりの猛暑がつづいている。35度以上の真夏日の中での農作業、十分な水分補給と休息をとって、体調管理を行いましょ。無理のない作業計画で、それぞれの家族が笑顔ですごせますように心から願ってペンを置く。

（文責 土肥 俊二）

### 「広報特別委員会」

委員長 金山 民幸  
副委員長 池田 秀晴

委員 荒川 孝一  
土肥 俊一  
柳瀬みどり  
議長 市田 昇